

No.	ページ	修正内容等	御意見
1	1-2	目次に（1）…のレベルも記載	第1章3の5つの分野が分かる形で目次を書くと、第4章と結びつきやすく、読み手に取って分かりやすくなる。
2	3	「はじめに」に記載	なぜこの時期に意見書を出すのかがあいまいになっている。意見書を出す意味を深めなければならない。
3	3	「はじめに」に記載	IPCアクセシビリティガイドにより福祉のまちづくりが大きく前進したこと及びIPCアクセシビリティガイドを今後の福祉のまちづくりに活かすべきであることを記載するべき。
4	6-14	第1章3に【取組の成果】を記載	「〇〇をした」という「アウトプット」で留まっており、可能な範囲で「アウトカム」視点を加えるべき。
5	15	第2章1の最後の○を新たに追記	東京都障害者差別解消条例についても言及するべき。
6	16	第2章2の三つ目の○を修正	平成30年5月のバリアフリー法の改正のポイントは、初めて理念規定を設けたことなので、その点を記載するべき。
7	17	第3章1のタイトルを「東京2020大会を契機とした都の主な取組」に修正	東京2020大会に向けた、という書き方だと大会が終了したら取組が終了してしまうように感じる。
8	19	第3章1（3）の四つ目の○を新たに追記	都の「手話のできる都民育成事業」を記載するべき。
9	19	第3章1（4）の一つ目の○に冊子の概要を追記	心のバリアフリーの推進に向けた取組をもっと記載するべき。
10	21	第4章1【課題と方向性】一つ目の○を修正 乗車拒否の問題を二つ目の○に移行	乗車拒否と施設等のバリアフリー基準の関係が不明。内容を分かりやすくするため、一部修正をするべき。
11	21	第4章1【課題と方向性】一つ目の○を修正	公共交通機関は、施設整備とともに、人的配置も重要な要素である。公共交通機関には社会的な責任がある。

No.	ページ	修正内容等	御意見
12	21	第4章1【課題と方向性】一つ目の○に具体例として「スロープ板の適切な操作など」を追記	「人的介助などのソフト対策」の記載を具体的にすべき。
13	21	第4章1【課題と方向性】二つ目の○にバス、タクシーに関する記載を新たに追記	内容について、鉄道に限定的なところが気になる。
14	21	第4章1【課題と方向性】二つ目の○に新たに追記	バスは正着制御やニーディング、UDタクシーはスロープの組み立てなどがきちんと対応できていない。
15	21	第4章1【課題と方向性】二つ目の○に新たに追記	バスやタクシーへの大型車椅子の乗車も課題であり、技術開発も求める必要がある。
16	22	第4章1【課題と方向性】四つ目の○を修正	利用者の視点に立った整備を実行していくことを強調する必要がある。
17	23	第4章2【課題と方向性】一つ目の○を修正	合理的配慮によりその場のニーズに応じたサポートをするべきことを記載する。
18	23	第4章2【課題と方向性】二つ目の○を修正	アクセシビリティ・ワークショップの取組の成果を活用するという記載にする。
19	23	第4章3【課題と方向性】一つ目の○を新たに追記	都として総合的な災害弱者対策に取り組むべき。
20	24	第4章3【課題と方向性】二つ目の○を修正	避難所として使用するから学校をバリアフリー化するという書き方に違和感がある。学校であるからこそバリアフリーでなければならない。
21	24	第4章3【課題と方向性】二つ目の○を修正	学校等への道路を整備していくことを強調する必要がある。
22	24	第4章3【課題と方向性】三つ目の○を新たに記載	障害者自らが自身の存在を知らせ、障害を理解してもらうことも大切。
23	24	第4章3【課題と方向性】三つ目の○を新たに記載	災害対策については、区市町村に協議してもらうような働きかけが重要になる。

No.	ページ	修正内容等	御意見
24	25	第4章4【現状】三つ目の○及び【課題と方向性】五つ目の○を新たに記載	アクセシビリティ情報の多言語化の状況が分かるとよい。
25	25	第4章4【現状】三つ目の○及び【課題と方向性】五つ目の○を新たに記載	多言語化はアクセシブル・ツーリズムの現状及び方向性に触れるべき。
26	25	第4章4【課題と方向性】一つ目の○を修正	アプリやシステムの開発段階で障害者の使用を前提とし、障害者の視点を反映できるとよい。
27	25	第4章4【課題と方向性】二つ目の○を修正	MaaSに関しては、バリアフリー情報の種類や内容、提供方策を検討していく必要がある。
28	25	第4章4【課題と方向性】四つ目の○を新たに記載	情報バリアフリーを進めるためには、バリアフリー情報の提供だけでなく、都庁ウェブサイトなど一般的な情報提供のバリアフリー化についても言及する必要がある。
29	26	第4章5【課題と方向性】一つ目の○を修正	記載に当事者があまり出てきていないため、“区市町村や事業者”に“当事者や当事者団体”を加える
30	26	第4章5【課題と方向性】二つ目の○を新たに記載	子どもだけでなく大人にも心のバリアフリーを意識させる活動を継続して推進することを記載するべき。
31	27	第4章4【課題と方向性】三つ目の○を修正	施設や整備の適正利用に向けて、引き続き整備のあり方を検討する必要がある。
32	27	第4章5【課題と方向性】四つ目の○を新たに記載	聴導犬や介助犬についてまだ理解を得られていないため、補助犬の理解を広めていかなければならない。
33	27	第4章5【課題と方向性】五つ目の○を修正	障害者権利条約に基づき、全ての人が平等に参加できる社会にしていく必要がある。
34	27	第4章5【課題と方向性】五つ目の○を修正	市民が「共生社会」を自ら考えたり定義して、推進方法に参画できるような機会があるとよい。
35	28	「おわりに」に記載	第4章の後に、第4章の5分野にはまらない、かつ今後検討していくべきもしくは検討するかもしれない課題を記載するべき。

No.	ページ	修正内容等	御意見
36	28	「おわりに」一つ目の○を修正	要支援者及び支援者への望ましい支援のあり方について検討するだけでなく、都民に理解してもらうための努力をしなければならない。
37	29	「おわりに」三つ目の○を新たに追記	G5等の導入により、オフィス環境、自動運転、遠隔操作等にUDの考え方をどれだけ導入できるか、可能性を探るという記載があるとよい。
38	全体	文言整理	「等」がとても多く、読んでいて引っかかってしまう。